

吸着POPを含めた

# マイクロプラスチック分析

調査計画の立案から、試料採取・分析・解析、吸着POP分析まで、トータルサポートします。

## 「マイクロプラスチック」の問題とは？

近年、環境中に排出されているマイクロプラスチック (MP: micro plastics) が問題となっています。

プラスチックは世界各国で多種多様な用途に使用され、その一部は不適切な管理によって環境中へ排出されています。排出されたプラスチックは河川等を経由して海域へ移送され、劣化・破砕により微細化し、直径5mm以下のものは「マイクロプラスチック」とよばれています。

マイクロプラスチックは、生物の体内に取り込まれることや、残留性有機汚染物質 (POPs: Persistent Organic Pollutants) を吸着してその輸送媒体になることが報告されており、私たちの生活や自然生態系に与える影響が懸念されています。



プラスチックごみ

移送

河川等を経由して  
海域へ移送



漂着したプラスチック破片

劣化・微細化

紫外線・温度変化による劣化、  
波浪による破砕



二次マイクロプラスチック



洗顔料

ハミガキ粉

一部の化粧品  
に使われた  
スクラブ等



一次マイクロプラスチック

排水として直接  
or 下水処理場を  
経由して河川へ



海洋プラスチックごみ

マイクロプラスチック


マイクロプラスチックの発生イメージ

# マイクロプラスチック分析 社内一貫体制で実施します。



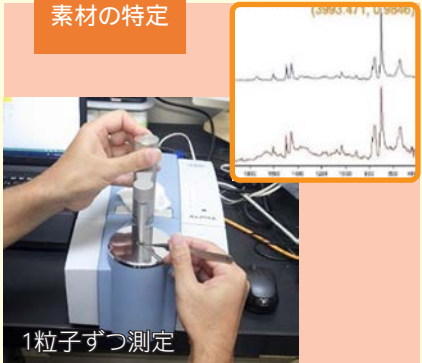
**オプションサービス**

**残留性有機汚染物質(POPs)分析**  
高分解能GC/MSIによる測定



試料  
超音波抽出  
脱水  
濃縮  
多層カラム  
(GPC)  
濃縮  
定容

**素材の特定**



1粒子ずつ測定

## マイクロプラスチック分析のご相談・ご依頼は当社まで!!

### 最新分析技術に対応

当社は、2019年4月に公表された、海洋におけるマイクロプラスチックの分布実態把握のための調査・分析法の国際的なガイドライン※の策定に携わっています。

### 吸着POPs分析に対応

当社は様々なPOPsがマイクロプラスチックに吸着することにいち早く着目し、その分析技術を開発しました。

### さまざまなフィールドに対応

当社がこれまでに調査・分析を実施したフィールドは、海洋、河川、下水処理排水、最終処分場、海底泥、土壌等多岐にわたり、豊富な経験と実績があります。

### お客様のニーズに合わせたご提案

ご要望に応じて、調査計画の立案から、試料採取、マイクロプラスチックの分析・解析、吸着POPsの分析、データ解析までを社内の一貫した体制で対応いたします。

※ Guidelines for Harmonizing Ocean Surface Microplastic Monitoring Methods (Version1.0, May 2019)

お気軽に  
ご相談ください!



【お問い合わせ先】

事業推進部

TEL: 03-4544-7606

E-mail: idea-quay@ideacon.jp



人と地球の未来のために —  
**いであ株式会社**

<https://ideacon.jp/>



本社 〒154-8585 東京都世田谷区駒沢3-15-1  
 国土環境研究所 〒224-0025 神奈川県横浜市都筑区早淵2-2-2  
 環境創造研究所 〒421-0212 静岡県焼津市利右衛門1334-5  
 食品・生命科学研究所 〒559-8519 大阪府大阪市住之江区南港北1-24-22  
 亜熱帯環境研究所 〒905-1631 沖縄県名護市字屋我252  
 大阪支社 〒559-8519 大阪府大阪市住之江区南港北1-24-22  
 沖縄支社 〒900-0003 沖縄県那覇市安謝 2-6-19  
 支店 札幌・東北・福島・北陸・名古屋・中国・四国・九州

TEL:03-4544-7600  
 TEL:045-593-7600  
 TEL:054-622-9551  
 TEL:06-7659-2803  
 TEL:0980-52-8588  
 TEL:06-4703-2800  
 TEL:098-868-8884